

研究業績リスト

(2011年10月1日～2012年9月30日)

大学教育開発センター

[大学教育開発センター]

教授：ハワード・N・ターノフ, 森田 勲

准教授：小澤 次郎, 薄井 明

講師：鎌田 禎子, 櫻井 潤

(1) 著書

- 1) 薄井 明：『国家試験対策 合格 社会福祉士 スタディ&チェック2013 共通科目編』, 株式会社みらい, 89-126, 2012, 7.
 - 2) 小澤次郎：『『ドミノ』試論』, 現代女性作家読本研究會編『現代女性作家読本④ 恩田 陸』, 鼎書房, 64-67, 2012, 02.
 - 3) 小澤次郎：「金子みすゞ『仏さまのお国』の問題——クリスティーナ・ロセッティ《宗教詩》への傾倒」, 詩と詩論研究会編『金子みすゞ 愛と願い』 勉誠出版, 137-154, 2012, 8.
 - 4) 小澤次郎：「『彼女のこんだて帖』—小説のレシピ—」, 現代女性作家読本研究會編『現代女性作家読本⑤ 角田光代』, 鼎書房, 122-125, 2012, 09.
 - 5) 櫻井 潤：「医療保険(改訂版)」, 渋谷博史・根岸毅宏・木下武徳編著『社会保障と地域(第二版)』, 学文社, 60-85, 2011, 10.
 - 6) 櫻井 潤：「介護保険(改訂版)」, 渋谷博史・根岸毅宏・木下武徳編著『社会保障と地域(第二版)』, 学文社, 86-110, 2011, 10.
 - 7) 櫻井 潤：『アメリカの医療保障と地域』, 日本経済評論社, 1-284, 2012, 6.
- ### (2) 論文
- 1) 小澤次郎：「特集 金子みすゞ その生涯と独自の視点」, 『大法輪』78-10, 62-64, 2011, 10.
 - 2) 小澤次郎：「金子みすゞの詩の考察」, 『北海道医療大学人間基礎科学論集』, 第37号, B1-7, 2011, 11.
 - 3) 鎌田禎子：「“Hop-Frog”の問題点について」, 『北海道医療大学人間基礎科学論集』, 第37号, A11-20, 2011, 11.
 - 4) 鎌田禎子：「Edgar Allan Poeとダブルのテーマ」, 『北海道アメリカ文学』, 第28号, 6-18, 2012, 3.
 - 5) 櫻井 潤：「アメリカの医療保障システムと地域市場」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第18号, 17-26, 2011, 12.
 - 6) 櫻井 潤：「アメリカの雇用主提供医療保険と地域市場の発展」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第18号, 27-42, 2011, 12.
 - 7) Akihiko Yamaguchi, Kunihiko Sakuma, Isao Morita : Local and circulating insulin-like growth factor- I on skeletal muscle growth. Current Research Trends in Skeletal Muscle, Research Signpost, 55-73, 2011, 12.
 - 8) 山口明彦・森田 勲：「運動への嗜好が大学入学直後の精神的健康度に及ぼす影響」, 『北海道体育学研究46』, 55-64, 2011, 9.
 - 9) Akihiko Yamaguchi, Isao Morita : Expression of specific IGFBNs is associated with those of the proliferating and differentiating markers in regenerating rat plantaris muscle. The Journal of Physiological Sciences, 2011, 8.
- ### (3) その他の論文
- 1) 薄井 明：「ゴフマン社会学の脱皮の跡—彼の修士論文(1949)に関する一考察—」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第18号, 67-75, 2011, 12.
 - 2) 小澤次郎：「読むことと考えること—『新約聖書』『莊子』—」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第18号, 1-7, 2011, 12.
 - 3) 櫻井 潤：「サンフランシスコ市/郡の地域市場とメディアケア」, 財団法人かんぽ財団平成23年度調査研究助成調査研究報告書, 1-50, 2012, 6.
 - 4) 櫻井 潤・渋谷博史・埜 武郎：(翻訳) S.M. エドナー著「通勤支援とリバース通勤：分権化問題とサービス提供システム」, 渋谷博史・根岸毅宏編『アメリカの分権と民間活用』, 日本経済評論社, 131-171, 2012, 8.
- ### (4) 学会発表
- 1) 鎌田禎子：「エドガー・アラン・ポーと『ダブル』のテーマ」, シンポジウム「好奇の心と畏怖の念：the quintessence of American literature」(講師), 日本アメリカ文学会北海道支部第21回大会, 2011, 12.
 - 2) 森田 勲・須田 力：「日北海道の高齢者の生活機能評価としてのショベリング投擲力」, 日本雪氷学

会北海道支部研究発表会, 2012, 5.

(5) 講演

- 1) 櫻井 潤:「日本の医療保険財政」, 東京大学大学院経済学研究科「日本経済」, 2012, 1.
- 2) 森田 勲:石狩市筋力アップ教室(1)~(12), 石狩市, 2011. 11~2012. 2.
- 3) 森田 勲:石狩市健康体力づくり講演会, 2011, 12.
- 4) 森田 勲:日本フィットネス協会理論研修会「筋力トレーニングおよび肥満解消プログラムの実際など」, 2012, 9.
- 5) Tarnoff, Howard N.: Special Lecture for Graduate Students, Medical Students, Faculty, and Hospital Staff “Medical English for Clinical Situations”, Hokkaido University Medical School, Hokkaido University, 2011, 12.
- 6) Tarnoff, Howard N.: Acceptance Lecture, Global Leader in Community Engagement Centenary Award University of Alberta, Faculty of Extension Canadian Embassy, Tokyo Japan, 2012, 4.

(6) 社会活動

- 1) 小澤次郎:第31回北海道医歯薬学生剣道大会, 同副大会長. 於北海道医療大学体育館, 2012, 6.
- 2) 櫻井 潤:国際会議「福祉国家と政府間関係の日米比較」(於:國學院大學) 討論者, 2012, 1.

2012年版. (株)みらい, 2012年4月.

- 2) 志水 幸(保育福祉小六法編集委員会編):保育福祉小六法2012年版. (株)みらい, 2012年4月.
- 3) 志水 幸監修・社会福祉士国家試験対策研究会編集:社会福祉士スタディ&チェック2013共通科目編. (株)みらい, 2012年7月.
- 4) 志水 幸監修・社会福祉士国家試験対策研究会編集:社会福祉士スタディ&チェック2013専門科目編. (株)みらい, 2012年7月.
- 5) 武田加代子, 志水 幸, 杉山克己, 伊藤優子, 山下匡将:レジデンシャル・ソーシャルワークにおける専門職制の特徴. Proceedings of 21st Asia-Pacific Social Work Conference. pp.558-566. 2012年3月.
- 6) 北川信樹:第8章「神経性無食欲症を合併した強迫性パーソナリティー障害に対する認知療法」. pp117-134 (井上和臣編著:パーソナリティー障害の認知療法-ケースから学ぶ臨床の実際-, 東京, 岩崎学術出版社)(2011)
- 7) 北川信樹:第3章 各施設の実践例「北海道大学病院精神科神経科での実践」. pp46-59 (集団認知行動療法研究会監修『さあ!やってみよう集団認知行動療法-うつ・不安への支援のために-』, 東京, 医学映像教育センター)(2011)
- 8) 北川信樹:うつ病の認知機能と社会復帰を目指した回復期治療. pp55-62 (精神疾患と認知機能研究会編,『精神疾患と認知機能-最近の進歩-』, 東京, 新興医学出版社)(2011)
- 9) 北川信樹, 賀古勇輝監訳(DHラム, Sジョーンズ, Pヘイワード著):『双極性障害の認知行動療法』, 東京, 岩崎学術出版社, 2012

臨床福祉学科

<臨床福祉政策学>

教授:鈴木 幸雄, 石川 秀也, 志渡 晃一,
志水 幸
准教授:佐々木明員
講師:佐藤 園美, 奥田かおり
助教:川匂亜紀奈

<医療福祉臨床学>

教授:向谷地生良, 白石 淳, 北川 信樹
准教授:長谷川 聡, 近藤 里美, 大友 芳恵
講師:志水 朱, 今野多美子, 福岡 麻紀,
卷 康弘
助教:高橋 由紀, 池森 康祐

(1) 著書

- 1) 志水 幸(福祉小六法編集委員会編):福祉小六法

(2) 論文

- 1) Toshiko Y., Ikuyoshi M., Sonomi S., Kaori O.: Field Practice that increase practical insight-creating field practice manual by promoting the use of process record, Crossing Borders : Interdependent Living and Solidarity, IFSW & APASWE, 620-629, 2011
- 2) Asakura S, Inoue T, Kitagawa N, Hasegawa M, Fujii Y, Kako Y, Nakato Y, Hashimoto N, Ito K, Tanaka T, Nakagawa S, Kusumi I, Koyama T: Social Anxiety / Taijin-kyofu Scale (SATS): development and psychometric evaluation of a new instrument. Psychopathology, 45: 67-72, 2012
- 3) 小山 司, 三井信幸, 北川信樹, 岩田愛雄:医療観察法の運用面の改善等に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金こころの健康科学研究事業, 平成23年度 総括・分担研究報告書, 1-10, 2012

(3) その他の論文

- 1) 志水 幸：本学会の果たすべき役割. 日本社会福祉教育学会ニューズレターNo.11. 17頁. 2011年11月11日.
- 2) 志水 幸：社会福祉学教育における「正義」の位相. 北海道医療大学看護福祉学紀要第18号. 57-66頁. 2011年12月.
- 3) 志水 幸：学会探訪：大学教育に関する専門学会の先駆け—大学教育学会. 日本社会福祉教育学会ニューズレターNo.12. 2-3頁. 2012年1月31日.

(4) 学会発表

- 1) 志水 幸：社会福祉学教育における「正義」の位相. 特定課題セッションⅧ(福祉は「これからの正義」をどう語るべきか)シンポジスト. 日本社会福祉学会第59回秋季大会. 2011年10月8日. 千葉(淑徳大学).
- 2) 伊藤優子, 山下匡将, 杉山克己, 志水 幸, 武田加代子：キャリア・スライドがソーシャルワーク・アイデンティティに及ぼす影響. 日本社会福祉学会第59回秋季大会. 2011年10月8日. 千葉(淑徳大学).
- 3) 志水 幸：シンポジウム「社会福祉教育研究の多様性と共通基盤をめぐって」企画・コーディネーター. 日本社会福祉教育学会第2回春季研究集会. 2012年3月5日. 東京(大妻女子大学).
- 4) 志水 幸：保健医療福祉系大学における教養教育の問題(3)ーコア・カリキュラムにおける人文社会系教養の意義を考える. ラウンドテーブル企画・コーディネーター. 大学教育学会第34回大会. 2012年5月26日. 札幌(北海道大学).
- 5) Takeda Kayoko ; Shimizu Koh ; Sugiyama Katsumi ; Ito Yuko ; Yamashita Masanobu : The Characteristics of Proficiency Developing Process in residential Settings. Joint World Conference on Social Work Social Development 2012 : Action and Impact. 9 July, Sweden (Stockholm). Abstract Book. pp.340.
- 6) 横山実可子, 今野多美子：要介護高齢者を在宅介護している家族介護力に関する実態. 第38回日本看護研究学会学術集会, 沖縄コンベンションセンター, 宜野湾市, 2012. 7.
- 7) 北川信樹：「認知行動療法(CBT)とは?—その基本的発想と介入の原則について—」(ワークショップ「うつの集団認知行動療法」)第11回日本認知療法学会・第12回認知療法研修会(2011. 9. 30-10. 2, 大阪)
- 8) 北川信樹：「双極性障害と摂食障害の併存例における発症モデルならびに治療論的考察」(パネルディス

カッション「双極性障害と不安障害, 摂食障害の併存例に関する臨床的検討」)第34回日本精神病理・精神療法学会(2011. 10. 14, 名古屋)

- 9) 賀古勇輝, 石田七瀬, 清水祐輔, 三井信幸, 藤井泰, 田中輝明, 北川信樹, 久住一郎, 小山 司：「統合失調症患者の服薬観と関連する要因についての検討」
大久保亮, 賀古勇輝, 清水祐輔, 三井信幸, 藤井泰, 田中輝明, 北川信樹, 久住一郎, 小山 司：「統合失調症患者の病名告知と抑うつとの関連についての検討」
藤井 泰, 北川信樹, 清水祐輔, 三井信幸, 賀古勇輝, 田中輝明, 朝倉 聡, 小山 司：「全般性社交不安障害の顔表情課題遂行時の機能画像に関する研究」
清水祐輔, 北川信樹, 豊島邦義, 三井信幸, 藤井泰, 賀古勇輝, 田中輝明, 小山 司：「大うつ病性障害患者における認知機能障害と薬物療法の関連性についての検討」第107回日本精神神経学会総会(2011. 10. 26-28., 東京)
 - 10) 北川信樹：「双極性障害の治療と心理教育」(精神医学研修コース「双極性障害の治療と心理教育」)第108回日本精神神経学会総会(2012. 5. 23-25, 札幌)
 - 11) 清水祐輔, 北川信樹, 河合剛多, 三井信幸, 藤井泰, 橋本直樹, 賀古勇輝, 田中輝明, 久住一郎, 小山 司：「気分障害に対する認知リハビリテーションに関する検討」
三井信幸, 朝倉 聡, 河合剛多, 清水祐輔, 藤井泰, 賀古勇輝, 北川信樹, 井上 猛, 小山 司：「大学生のうつ病性障害の背景にある気質—性格特性について」第9回日本うつ病学会総会(2012. 7. 27-28, 東京)
 - 12) 北川信樹：「単極性大うつ病に対するCBGTの効果と治療反応性—神経認知機能に着目して—」(シンポジウム「CBGTの効果研究」)集団認知療法研究会第3回総会・中級研修会(2012. 9. 30, 東京)
 - 13) Kaori O., Toshiko Y., Sonomi S., Ikuyoshi M. : Process recordings in supervision : introducing a new teaching method to the social work field practice in Japan. World Conference on Social Work and Development, Stockholm, 2012. 7.
- (5) 講演
- 1) 石川秀也：高齢者の権利を守るということ—施設内虐待と身体拘束から, 職員研修会, 特別養護老人ホームコスモス苑, 2011. 11. 25

- 2) 石川秀也：高齢者虐待の防止に向けて，平成23年度高齢者虐待防止講演会，函館市，2011. 12. 10
- 3) 石川秀也：福祉関係者のための虐待防止・早期発見－高齢者虐待と身体拘束に焦点を当てて，平成23年度虐待防止・早期発見研修会，栗山町，2011. 12. 26
- 4) 石川秀也：不適切なケアを考える－高齢者虐待と身体拘束に焦点を当てて，高齢者虐待・不適切ケアの研修会，社会福祉法人慧誠会，2012. 1. 21
- 5) 石川秀也：地域で虐待を防ぐために私たちにできること，高齢者虐待防止研修会，新冠町・新冠町高齢者虐待防止ネットワーク会議，2012. 2. 3
- 6) 石川秀也：高齢者虐待への対応と市町村の体制づくり，平成23年度地域包括支援センターの活動状況に関する意見交換会，北海道上川総合振興局，2012. 2. 10
- 7) 石川秀也：地域における権利擁護システムの構築～新たな仕組みづくり，地域における権利擁護システム構築推進研修，北海道社会福祉協議会，2012. 2. 18
- 8) 石川秀也：概観・成年後見制度，人権擁護研修，社会福祉法人幸清会・社会福祉法人大滝福祉会，2012. 2. 24
- 9) 石川秀也：施設の管理・運営，職員への指導，平成22年度北海道児童養護施設等基幹的職員研修，北海道・札幌市，2012. 3. 14
- 10) 不適切なケアを考える－高齢者虐待と身体拘束に焦点を当てて，複数事業所連携事業合同研修，社会福祉法人緑陽会・社会福祉法人苫小牧慈光会，2012. 3. 24
- 11) 石川秀也：不適切なケアを考える－高齢者虐待と身体拘束に焦点を当てて，高齢者虐待に関する講演会，飯町グループホーム連絡会，2012. 4. 28
- 12) 石川秀也：社会福祉サービス利用者の権利擁護－従事者による虐待問題から全道施設長セミナー，社団法人北海道知的障がい福祉協会，2012. 5. 10
- 13) 石川秀也：高齢者虐待防止についての基本的理解，平成24年度北海道高齢者虐待防止推進研修会，北海道社会福祉協議会 北海道高齢者総合相談・虐待防止センター，2012. 7. 26
- 14) 石川秀也：高齢者虐待の基本的な理解その防止について考える，西胆振管内地域連携研修会，社会福祉法人幸清会，2012. 9. 28
- 15) 志水 幸：社会福祉行政論。第64回社会福祉主事資格認定講習会講師。北海道社会福祉協議会・社会福祉研修所。2012年5月。札幌（かでの27）。
- 16) 今野多美子：認知症ってなぁに？～ライフスタイルを通して～，地域共生型パーソナルアシスタント養成講座，当別町総合保健福祉センター，2012. 2. 20.
- 17) 今野多美子：スタッフ育成へのアプローチ，江別市立病院看護師長副師長研修，2012. 2. 25.
- 18) 今野多美子：高齢者の在宅介護について，当別町民生児童委員会研修会，当別町総合保健福祉センター，2012. 7. 19.
- 19) 北川信樹：「認知行動療法とは－その基本的発想と原則，諸技法について－」第12回認知療法研修会（2011. 10. 2，大阪）
- 20) 北川信樹：「双極性障害と摂食障害の併存例における発症モデルならびに治療論的考察」第11回北海道精神病理学臨床カンファレンス（2011. 10. 7，札幌）
- 21) 北川信樹：「自殺予防に係る職場のメンタルヘルス・リワーク支援について」平成23年度南檜山園域自殺予防講演会（2011. 11. 4，江差）
- 22) 北川信樹：「認知行動療法の基礎セミナー」国立病院機構帯広病院認知行動療法研修会（2011. 11. 18，帯広）
- 23) 北川信樹：「集団認知行動療法の実際」国立病院機構帯広病院認知行動療法研修会（2011. 11. 19，帯広）
- 24) 北川信樹：「うつ病の認知行動療法」地域自殺対策緊急強化委託事業「うつ病の医療・支援向上をめざす研修会」第4回札幌プログラム（2011. 11. 26，札幌）
- 25) 北川信樹：「うつ病の神経認知機能とリカバリーに向けた新たな治療展開」平成23年北大精神医学教室同門会講演会（2011. 12. 3，札幌）
- 26) 北川信樹：「認知行動療法の基礎」平成23年度第3回家庭裁判所調査官自庁研修（2011. 12. 19，札幌）
- 27) 北川信樹：「職場のメンタルヘルス～うつ病の理解・予防・つきあい方～」東京海上日動火災保険株式会社平成23年度健康増進講演会（2011. 12. 21，札幌）
- 28) 北川信樹：「集団認知行動療法とは～その基本発想と介入原則～」集団認知行動療法研究会第5回基礎研修会（2012. 2. 19，広島）
- 29) 北川信樹：「認知行動療法～治療の実際～」北海道臨床心理士会第4回研修会（2012. 3. 10，札幌）
- 30) 北川信樹：「集団認知行動療法とは～その基本発想と介入原則～」(ワークショップ「集団認知行動療法」) 集団認知行動療法研究会第6回基礎研修会（2012. 7. 15，金沢）

- 31) 近藤里美：「音楽と私たちのつながり：音楽療法を通じて学ぶ」日本音楽療法学会東北支部学術大会基調講演，2011年，10月23日，仙台。
- 32) 近藤里美：「ホスピス緩和ケアと音楽療法」日本音楽療法学会東北支部学術大会講演，2012年，7月23日，仙台。
- (6) 社会活動
- 1) 石川秀也：北海道地域福祉学会理事
 - 2) 石川秀也：特定非営利活動法人「福祉オンブズマンほっかいどう」理事
 - 3) 石川秀也：社会福祉法人「新篠津福祉会」理事
 - 4) 石川秀也：北海道福祉サービス第三者評価推進機構・第三者評価基準等委員会委員長
 - 5) 石川秀也：北海道高齢者虐待防止推進委員会委員長（北海道・北海道社会福祉協議会）
 - 6) 志水 幸：日本社会福祉教育学会研究担当理事。
 - 7) 志水 幸：大学教育学会学会誌編集委員会委員。
 - 8) 今野多美子：小規模自治体病院等看護職員派遣検討会委員，北海道
 - 9) 今野多美子：第16回日本看護管理学会年次大会渉外委員会委員
 - 10) 今野多美子：北海道臨床倫理検討会幹事
 - 11) 今野多美子：高齢者就労支援部会委員，当別町NPO法人ゆうゆう

師国試対策スキルアップ・ブック．東京，海馬書房，2012．

(2) 論文

- 1) 小林正伸：低線量放射線被ばくの発がんへの影響は？日本がん予防学会 News Letter No72, June 2012, p5.
- 2) Kobayashi T, Ishida J, Musashi M, Ota S, Yoshida T, Shimizu Y, Chuma M, Kawakami H, Asaka M, Tanaka J, Imamura M, Kobayashi M, Itoh H, Edamatsu H, Sutherland LC, Brachmann RK. P53 transactivation is involved in the antiproliferative activity of the putative tumor suppressor RBM5. *Int J Cancer* 128 : 304–318, 2011.
- 3) Onuma K, Suenaga Y, Sakaki R, Yoshitome S, Sato Y, Ogawara S, Suzuki S, Kuramitsu Y, Yokoyama H, Murakami A, Hamada J, Nicolson GL, Kobayashi M, Fujii J, Okada F. Development of a quantitative bioassay to assess preventive compounds against inflammation-based carcinogenesis. *Nitric Oxide* 25 : 183–194, 2011
- 4) Kubo Y, Yanagawa Y, Matsumoto M, Hiraide S, Kobayashi M, Togashi H. Toll-like receptor 7-mediated enhancement of contextual fear memory in mice. *Pharmacol Biochem Behav.* 102 : 495–501, 2012.
- 5) Takashi Kunihara, Suguru Kubota, Norihiko Shiiya, Kenji Iizuka, Shigeyuki Sasaki, Satoru Wakasa, Kenji Matsuzaki, Yoshiro Matsui. Cytokine balance in hepatosplanchnic system during thoracoabdominal aortic aneurysm repair, *Journal of Artificial Organs* 14 : 192–200, 2011
- 6) Suguru Kubota, Kinya Matsui, Satoru Wakasa, Yukio Suto, Shigeyuki Sasaki, Keiichiro Yoshinaga, Yoshiro Matsui. Surgical ventricular restoration improves the left ventricle basal wall function using quantitative gated SPECT, *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery* 17 : 552–558, 2011
- 7) Tsuyoshi Kanaoka, Junichiro Takahashi, Yutaka Wakamatsu, Kouji Ishii, Toshihiro Gohda, Shigeyuki Sasaki, Yoshiro Matsui. Lowered postoperative LDL-C/HDL-C ratio reduces later cardiovascular events after abdominal aortic aneurysm surgery. *Annals of Vascular Diseases* 5 : 36–44, 2012
- 8) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki. Clinical impact of iodine staining for diagnosis of carcinoma in situ in the floor of mouth, and decision of adequate surgical margin. *Auris Nasus Larynx.* 39 :

看護学科

生命基礎科学講座

教授：小林 正伸，佐々木重幸，西 基

(1) 著書

- 1) 小林正伸．がんと向き合う一市民のための基礎知識．北海道新聞社 平成24年10月11日．
- 2) 小林正伸．がん原物質と造血器腫瘍のリスク．日本臨床 70巻 増刊号2 p39–42 造血器腫瘍学—基礎と臨床の最新研究動向—．
- 3) 高橋茂樹，西 基．STEP公衆衛生 第12版．東京，海馬書房，2011．
- 4) 西 基，高橋茂樹．登録販売者試験最速完全マスター 東京，海馬書房，2012．
- 5) 畑江芳郎，小林良二，西 基．STEP小児科 第3版．東京，海馬書房，2012．
- 6) 可世木久幸，佐藤友子，高橋茂樹，西 基．助産

193-197, 2012

- 9) Kouji Ishii, Junichiro Takahashi, Tsuyoshi Kanaoka, Yutaka Wakamatsu, Toshihiro Gohda, Shigeyuki Sasaki, Yoshiro Matsui. Lowered LDL-C levels reduce later local vascular events after surgical or endovascular treatment of peripheral artery disease. *Annals of Vascular Diseases* 5 ; 180-189, 2012
- 10) 西 基. わが国におけるスズメバチ等による死亡の疫学. *厚生*の指標 59 : 30-34, 2012.
- 11) 三宅浩次, 西 基, 中路重之, 小野田敏行, 菊池武尅, 佐藤祥子, 千葉 健, 伏見雅人, 東谷慶昭, 五十嵐 敦. 北海道・東北地方における事業所のメンタルヘルスの状況とその対策に関する研究. *北海道公衆衛生学雑誌* 2011 ; 25 : 175-178.
- 12) 西 基. わが国における2008年の麻疹流行の疫学的分析. *北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌* 2012 ; 8 : 5-9.
- 13) 上原尚紘, 佐藤巖光, 志渡晃一, 西 基, 三宅浩次. 男性正規労働者の抑うつ症状とその関連要因. *北海道公衆衛生学雑誌* 2011 ; 25 : 153-159.

(4) 学会発表

- 1) 西 基, 花井潤師, 三觜 雄. わが国における出生コホート別の「副腎の悪性新生物」死亡率の推移. 第38回日本マス・スクリーニング学会 福井市 2011年10月28日

実践基礎看護学講座

教授：花岡眞佐子, 平 典子
講師：伊藤祐紀子, 福良 薫, 明野 伸次
助教：福井 純子, 齊藤 美沙

(2) 論文

- 1) Yuko HAYASHI, Kaoru FUKURA, Kumiko MIYATA : Effect of nursing protocols on elderly with chronic constipation, *MEDICINE AND BIOLOGY*, 156(8), 2012. 8.

(4) 学会発表

- 1) 平 典子, 唐津ふさ, 田中いずみ, 鳴井ひろみ, 三津橋梨絵; 治療期にあるがん患者の家族に対する支援—看護師に対するグループインタビューから. *がん看護学会*, 松江, 2012, 2.
- 2) 平 典子, 唐津ふさ, 田中いずみ, 鳴井ひろみ, 三津橋梨絵; 外来治療を受けながら療養生活を送るが

ん患者の家族に対する支援. *がん看護学会*, 松江, 2012, 2.

- 3) 唐津ふさ, 平 典子, 田中いずみ, 鳴井ひろみ; 外来治療を受けながら療養生活を送るがん患者を支える家族の体験. *日本看護研究学会第21回北海道地方会学術集会*, 旭川, 2012, 6.
- 4) Norkiko Hira, Fusa Karatu, Izumi Tanaka, Hiromi Narui : Support to Families of Outpatients undergoing Cancer Treatment, *Supportive Care in Cancer, International MASCC/ISOO Symposium*, NY, 2012, June.
- 5) 明野伸次, 立崎恵美子: 排尿ケアにおける教育支援プログラムの検討 —排尿チャート研修受講後の実践状況からみた評価—, 第25回日本老年泌尿器科学会学術集会, 徳島市, 2012, 6.
- 6) Hiroko Komatsu, Kaori Yagasaki, Rie Shoda, Younghui Chung, Sumiko Fukui, Shoko Matono, Takako Soejima, Sachi Fukuhara, Saori Akiama, Ayako Noike, Takako Sugaya, Miki Kataoka : Exploring women's experience of fertility-sparing radical trachelectomy for cervical cancer : A preliminary study, 17th International Conference on Cancer Nursing (ICCN), Prague, Czech Republic, September 2012.
- 7) Mika Chaen, Etsuko Shindo, Miki Kubo, Naoko Yamagishi, Masahiro Kobayashi, Takako Sugaya, Sumiko Fukui : Feasibility Study of an Exercise Program for Cancer Patients Undergoing Chemotherapy, 17th International Conference on Cancer Nursing (ICCN), Prague, Czech Republic, September 2012.

(5) 講演

- 1) 花岡眞佐子: 「北海道医療大学看護福祉学部の教育方針・臨地実習に期待すること」北海道病院看護部臨地実習担当者研修, 札幌市, 2012, 4.
- 2) 平 典子: 「事例を研究的視点でまとめるとは」, 北海道大学病院看護部3年目研修, 札幌市, 2012, 7・8
- 3) 伊藤祐紀子: 「看護研究における倫理的配慮」, 釧路労災病院, 釧路市, 2011. 10.
- 4) 伊藤祐紀子: 「看護研究公開ゼミナール～研究計画書作成」, 釧路労災病院, 釧路市, 2011. 11.
- 5) 福良 薫: 「急性期からはじめる口作り」, 日本脳神経看護研究学会北海道部会主催看護研修, 札幌市, 2011, 11.
- 6) 福良 薫: 「患者さんの気持ち 理解していますか? ～脳卒中看護における傾聴の意味～」, 日本脳神経看護研究学会主催第18回脳神経看護セミナー, 札幌市, 2012, 8.

- 7) 福良 薫：「Let's 看護研究」，東近江敬愛会病院主催看護研修，東近江市，2012， 8。
- (6) 社会活動
- 1) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 評議員。
 - 2) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 専任査読委員
 - 3) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 研究助成選考委員。
 - 4) 花岡眞佐子：NPO法人日本コンチネンス協会 副会長。
 - 5) 花岡眞佐子：NPO法人日本コンチネンス協会 教育部排泄ケア専門員認定委員。
 - 6) 平 典子：日本看護研究学会 北海道地方会長。
 - 7) 平 典子：日本看護研究学会 評議員。
 - 8) 平 典子：日本看護研究学会 査読員。
 - 9) 平 典子：日本看護科学学会 評議員。
 - 10) 平 典子：日本がん看護学会 評議員。
 - 11) 平 典子：日本がん看護学会 査読員。
 - 12) 平 典子：日本がん看護学会国際活動委員。
 - 13) 平 典子：大学評価委員
 - 14) 伊藤祐紀子：平成23年度北海道看護協会 学会委員会 委員。
 - 15) 伊藤祐紀子：平成24年度北海道看護研究学会 査読員
 - 16) 伊藤祐紀子：平成24年度北海道看護研究学会 研究指導員
 - 17) 伊藤祐紀子：第2回M-GTA研究会合同研究会 実行委員代表，札幌学院大学，2012。 8。
 - 18) 伊藤祐紀子：北海道M-GTA研究会事務局代表。
 - 19) 伊藤祐紀子：釧路労災病院研究指導，釧路市，2011。 10～2012。 9
 - 20) 福良 薫：日本ヒューマン・ナーシング研究学会常任理事。
 - 21) 福良 薫：日本脳神経看護研究学会 評議員。
 - 22) 福良 薫：日本脳神経看護研究学会北海道部会書記。
 - 23) 福良 薫：看護協会札幌第二支部研究発表会講評，札幌市，2012。 1。
 - 24) 福良 薫：秀友会病院看護研究指導，札幌市，2012， 4～11。
 - 25) 福良 薫：札幌第一病院看護研究指導，札幌市，2012， 4～11。
 - 26) 福良 薫：大倉山学院看護研究指導，小樽市，2012， 7～2013。 3。
 - 27) 福良 薫：平成24年度北海道看護教員養成講習会，研究方法演習 講師，2012。 6～8。
 - 28) 福良 薫：第8回日本ヒューマン・ナーシング研究

- 学会学術集会 事務局長，2012。 9。
- 29) 明野伸次：一般社団法人日本看護研究学会 北海道地方会役員。
 - 30) 明野伸次：NPO法人日本コンチネンス協会 北海道支部副支部長。
 - 31) 明野伸次：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事。
 - 32) 明野伸次：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長。

地域保健看護学講座

(老年看護学)

教授：山田 律子
准教授：萩野 悦子
講師：内ヶ島伸也
助教：難波 香織

(地域看護学)

准教授：工藤 禎子，桑原 ゆみ，竹生 礼子
助教：明野 聖子，川添恵理子

(精神看護学)

准教授：佐久間えりか
講師：笹木 弘美
助教：中村由香里

(老年看護学)

(1) 著 書

- 1) 山田律子・高橋龍太郎 (監修)，難波香織 (原案協力)：DVD看護のための病態生理とアセスメント 呼吸・循環 Vol. 6 浮腫・脱水，医学映像教育センター，2012 (， 6)。
- 2) 山田律子・高橋龍太郎 (監修)，上野澄恵 (原案協力)：DVD看護のための病態生理とアセスメント 排泄 Vol. 7 排尿障害，医学映像教育センター，2012 (， 8)。
- 3) 山田律子・高橋龍太郎 (監修)，上野澄恵 (原案協力)：DVD看護のための病態生理とアセスメント 排泄 Vol. 8 排便障害 (， 8)。
- 4) 山田律子：はじめに，老年看護の展開における考え方，本書の構成と使い方，第1編3 食事，第2編第1部1 高次機能障害，第2部21 摂食・嚥下障害，28 言語障害 (失語症・構音障害)，山田律子，萩野悦子，井出 訓 (編著)：生活機能からみた老年看護過程 第2版，医学書院，iii - vii， ix - xiii， 17 -

- 25, 71, 336-353, 430-443, 2012 (, 8).
- 5) 萩野悦子：複数の疾患をもつ高齢者のとらえ方，第1編1活動，第2編第1部3パーキンソン病，4脊髄小脳変性症，5脊髄圧迫骨折，骨粗鬆症，13老人性皮膚癢痒症，14褥瘡，15白癬，第2部26睡眠障害，山田律子，萩野悦子，井出 訓（編著）：生活機能からみた老年看護過程 第2版，医学書院，viii，2-8，101-110，114-123，138，139，243-248，254-263，267-272，410-419，2012 (, 8).
 - 6) 内ヶ島伸也：第1編5身じたく，第2編第1部11前立腺肥大症，第2編第1部12神経因性膀胱，第2編第1部20尿路感染症，山田律子・萩野悦子・井出 訓（編集）：生活機能からみた老年看護過程第2版，医学書院，33-42，217-225，230-238，325-333，2012 (, 8).
- (2) 論文
- 1) Edahiro, A., Hirano, H., Yamada, R., et al., : Factors affecting independence in eating among elderly with Alzheimer's disease, *Geriatr Gerontol Int*, 12 : 481-490, 2012 (,1).
- (3) その他の論文
- 1) 山田律子：認知症の原因疾患による摂食・嚥下障害の特徴を踏まえたアプローチの重要性，地域リハビリテーション，7 (6) : 440-445, 2012 (, 6).
 - 2) 山田律子：認知症の原因疾患別に見た摂食・嚥下障害の特徴とケア，日本医事新報，4604 : 75-79, 2012, 7).
 - 3) 山田律子：認知症の人と豊かな食事に向けてー歯科医療の重要性 (Science歯科医療と脳Vol. 7)，道歯会通信，750 : 4-9, 2012 (, 9).
 - 4) 内ヶ島伸也：身体介護やターミナルケア等の基本的な介護方法に関する研究の動向，平成23年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業ー認知症介護における研究成果の総括および普及促進に関する研究事業報告書，240-244, 2012 (, 3).
- (4) 学会発表
- 1) 山田律子，内ヶ島伸也，千葉由美，他：認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴とケアの方向性ー認知症の原因疾患と重症度を踏まえた分析，日本老年看護学会第16回学術集会，東京，2011，(, 6).
 - 2) 枝広あや子，平野浩彦，山田律子，他：アルツハイマー型認知症患者の自立摂食を支援するためにー食行動実態調査の結果から，第27回老年学会 (合同ポスターセッション優秀ポスター賞受賞)，東京，2011 (, 6).
 - 3) 新谷浩和，平野浩彦，鈴木 央，山田律子，他：在宅認知症高齢者の食事支援での多職種連携構築，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会，東京，2011 (, 6).
 - 4) 新谷浩和，平野浩彦，鈴木 央，山田律子，他：認知症高齢者の地域ケアー食事ケアの歯科支援システムの提案，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会，東京，2011 (, 6).
 - 5) 佐藤絵美子，平野浩彦，渡邊 裕，新屋俊明，戸原玄，千葉由美，山田律子，他：認知症高齢者臭覚機能低下と食事との関連ーアルツハイマー型認知症を中心に，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会 (優秀ポスター賞受賞)，東京，2011 (, 6).
 - 6) 山田律子，上野澄恵，武田純子，野村まゆみ：グループホームにおける認知症終末期にある高齢者の豊かな食事介助を目指してー死亡前1週間の身体兆候と食支援の工夫ー，第13回日本認知症ケア学会大会，浜松，2012 (, 5).
 - 7) 佐藤絵美子，平野浩彦，渡邊 裕，枝広あや子，小原由紀，森下志穂，大堀嘉子，戸原玄，千葉由美，新屋俊明，山田律子，片倉 朗，山根源之，鈴木隆雄，外木盛雄：認知症高齢者の口腔機能および嚥下実態調査報告ー不顕性肺炎発症リスクの視点からー，一般社団法人日本老年歯科医学会第23回学術大会，つくば.2012 (, 6).
 - 8) 枝広あや子，佐藤絵美子，平野浩彦，山田律子，渡邊 裕，小原由紀，富田かをり，中川量晴，大堀嘉子，新谷浩和，細野 純：認知症患者の自立摂食を支援するための介入プログラムの考案，一般社団法人日本老年歯科医学会第23回学術大会 (優秀ポスター賞受賞)，つくば，2012 (, 6).
 - 9) 菅谷清美，山田律子，萩野悦子：肺炎の病状経過において観察された認知症高齢者の行動と有効な看護，日本老年看護学会第17回学術集会，金沢，2012 (, 7).
 - 10) 平野浩彦，渡邊 裕，枝広あや子，戸原玄，千葉由美，山田律子，佐藤絵美子：アルツハイマー型認知症高齢者の口腔機能および嚥下機能実態調査，第18回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会，札幌，2012 (, 8).
 - 11) 成田加奈，山田律子，萩野悦子：大腿骨近位部骨折高齢者の歩行再獲得過程への影響要因を踏まえた看護実践とその効果，北海道医療大学看護福祉学部学会第9回学術大会，札幌，2012 (, 9).
 - 12) 萩野悦子，寺下いずみ：腎・泌尿器疾患の予定手術

- を受ける高齢者の周手術期における活動量と睡眠状態の変化, 日本睡眠学会第36回定期学術集会, 京都, 2011 (, 10).
- 13) 寺下いずみ, 萩野悦子: 腎・泌尿器疾患の予定手術を受ける高齢者の術後の苦痛表現と出現時期, 日本老年看護学会第17回学術集会, 金沢, 2012, (, 6).
- 14) 萩野悦子, 寺下いずみ: 経尿道的前立腺摘除術を受ける高齢者の手術後に出現する苦痛と看護師の対応の効果, 北海道医療大学看護福祉学部第9回学術大会, 札幌, 2012, (, 9).
- 15) 内ヶ島伸也, 石崎森子, 横山晃子, 板澤有幾, 板澤寛, 蒲原 龍: 認知症高齢者の日常生活ケアに関わる意思決定能力の特徴ー認知症ではない高齢者との比較ー, 第13回日本認知症ケア学会大会, 浜松, 2012 (, 5).
- 16) 井出 訓, 内ヶ島伸也, 岡本麗子, 木村靖子: 認知症の人を介護する家族の介護環境とサービスニーズー現状把握とサービス提供に向けた課題ー, 第13回日本認知症ケア学会大会, 浜松, 2012 (, 5).
- (5) 講演
- 1) 山田律子: 第4回日本健康医療学会総会・学術大会市民講座「認知症の人の明るく健やかな暮らしに向けてーこんなとき, どうしますか?」, 札幌, 2011 (, 10).
- 2) 山田律子: 複数事業連携事業「認知症高齢者の摂食・嚥下障害と援助方法」, 千歳, 2011 (, 10).
- 3) 山田律子: 平成23年度札幌市北区グループホーム職員研修会「認知症の原因疾患をふまえた食事ケア」, 札幌, 2011 (, 11).
- 4) 山田律子: 薩摩郡認知症研究会「認知症の人の食べる喜びを支えるケアー脳機能を踏まえて」, 鹿児島, 2011 (, 11).
- 5) 山田律子: 平成23年度 札幌市在宅福祉サービス協会「さっぽろ介護力アップおうえん事業」専門職スキルアップ講座「認知症の原因疾患をふまえた適切なケア(食事介助)」, 札幌, 2011 (, 11).
- 6) 山田律子: 第9回日本通所ケア研究大会(合同開催: 第7回認知症ケア研修会)「ワンランクアップのための認知症高齢者への食事ケア」, 福山, 2011 (, 11).
- 7) 山田律子: 平成23年度札幌市在宅福祉サービス協会主催「摂食・嚥下障害のある高齢者の食事支援」, 札幌, 2011 (, 12).
- 8) 山田律子: 第1回認知症の人の食支援研究会, 基調講演, シンポジウム, 東京, 2011 (, 12).
- 9) 山田律子: NPO 群馬摂食・嚥下研究会主催「認知症の原因別にみた 摂食・嚥下障害と食事ケアと口腔ケア」講演と症例検討・グループワーク」, 前橋, 2012 (, 2).
- 10) 山田律子: 第11回保険薬局マネジメントセミナー(エーザイ株式会社主催)「認知症の方の豊かな生活に向けてー薬剤師による服薬・食事サポート」, 東京都と全国サテライト, 東京, 2012 (, 3).
- 11) 山田律子: 釧路地域リハビリテーション運営委員会・北海道歯科医師会主催「実践にすぐに役立つ! 認知症の人への食事支援」, 釧路, 2012 (, 3).
- 12) 山田律子: 平成24年度一補燈門会総会・学術講演会「摂食・嚥下障害を有する認知症高齢者への食事支援ーチームアプローチにおいて歯科医師が担う役割の重要性ー」, 札幌, 2012 (, 4).
- 13) 山田律子: 日本老年社会科学会第54回大会ワークショップ「高齢者のターミナルケアにおける食事支援」, 佐久, 2012 (, 6).
- 14) 山田律子: 北海道医療大学病院医療安全講習会「安全に配慮した認知症患者の病棟管理」, 札幌, 2012 (, 6).
- 15) 萩野悦子: 北海道看護教員養成講習会講師 研究方法 (, 6).
- 16) 萩野悦子: 札幌市豊平区創造学園(高齢者大学)講師 (, 2).
- (6) 社会活動
- 1) 山田律子: 一般社団法人日本看護研究学会 理事・会計・査読委員・学術集会座長
- 2) 山田律子: 一般社団法人日本認知症ケア学会 理事・編集委員・認知症ケア専門士認定試験委員・大会座長
- 3) 山田律子: 公益社団法人日本看護科学学会 評議員(社員)・学術集会座長
- 4) 山田律子: 日本老年看護学会 評議員・査読委員・教育研究推進委員・学術集会座長
- 5) 山田律子: 一般社団法人日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員・査読委員・論文表彰選考委員・学術集会座長
- 6) 山田律子: 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員
- 7) 山田律子: 一般社団法人日本老年歯科医学会 査読委員
- 8) 山田律子: 専門看護師教育課程認定委員会(老人看護専門分科会)委員
- 9) 山田律子: 認定看護師認定実行委員会(認知症看護分野)委員長

- 10) 山田律子：認定看護師認定委員会 委員
- 11) 山田律子：日本看護協会看護研修学校 認知症看護認定看護師教育課程 講師，東京，2010（，7）.
- 12) 山田律子：兵庫県看護協会 資格認定教育部 認定看護師教育課程 認知症看護コース 講師，神戸，2010（，8）.
- 13) 山田律子：医療法人札幌円山病院 院内認定教育プログラム「認知症高齢者のアセスメントー食事」講師2011（，8）および研究支援，2011-2012（，9）.
- 14) 萩野悦子：日本看護研究学会北海道地方会役員
- 15) 萩野悦子：日本老年看護学会学会誌査読者
- 16) 萩野悦子：日本認知症ケア学会代議員
- 17) 萩野悦子：日本認知症ケア学会誌査読委員
- 18) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 認知症ケア上級専門士認定委員会委員
- 19) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士認定委員会委員
- 20) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 事例ジャーナル査読委員
- 21) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 将来構想・あり方委員会委員
- 22) 萩野悦子：医療法人札幌西円山病院看護研究支援
- 23) 萩野悦子：江別市立病院 病棟看護研究支援
- 24) 萩野悦子：認知症グループホーム福寿荘 研究支援
- 25) 内ヶ島伸也：NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事
- 26) 内ヶ島伸也：札幌市月寒公民館創造学園「認知症を知ろう・考えよう」講師，札幌，2011（，10）.
- 27) 内ヶ島伸也：NPO法人中空知・地域で認知症を支える会「認知症基礎講座」講師，砂川，2011（，12）.
- 28) 内ヶ島伸也：北海道看護協会「北海道看護研究学会に係る研究指導」，2012（，2～3）.
- 29) 内ヶ島伸也：平成24年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川，2012（，8～9）.
- 30) 内ヶ島伸也：札幌市月寒公民館創造学園「認知症を知ろう・考えよう」講師，札幌，2012（，9）.

（地域看護学）

(2) 論文

- 1) 工藤禎子，竹生礼子，川添恵理子，若山好美，佐藤美由紀，明野聖子（2012）. 認知症の人と家族が暮らしやすい地域をつくるための啓発活動に関する促進要因，ー認知症キャラバンメイト活動者の自由記載の分析ー，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，8（1）. 31-38.
- 2) 桑原ゆみ，宮崎美砂子（2012）市町村国民健康保険による特定健康診査受診に関する知識・態度・行動

ー定期受診者および不定期受診者への半構造化面接よりー，千葉看護学会会誌，18（1），53-60

(3) その他の論文

- 1) 工藤禎子，竹生礼子，川添恵理子，若山好美，佐藤美由紀，明野聖子（2012）. 認知症キャラバンメイト登録者の活動阻害要因，ー未活動者の自由記載の分析ー，北海道医療大学看護福祉学部紀要，18，9-16.

(4) 学会発表

- 1) 佐藤美由紀，若山好美，工藤禎子（2012）. 農村における高齢者の地域組織の加入と居住地区との関連，ー農村地区と市街地区高齢者の比較からー，日本地域看護学会第15回学術集会，講演集p132，2012年6月，東京.
- 2) 工藤禎子：都市部における独居高齢者の生活上の危機と管理，北海道医療大学看護福祉学部学会，第8回学術集会，2012年9月，札幌.
- 3) 桑原ゆみ，宮崎美砂子（2012）特定健診経験者の健診受診に関する知識・態度・行動，日本地域看護学会第15回学術集会，講演集p70，2012年6月，東京.
- 4) 桑原ゆみ（2012）特定健診新規受診者の健診受診に関する知識・態度・行動の特徴と健診結果，第17回日本糖尿病教育・看護学会学術集会，講演集p221，2012年9月.

(5) 講演

- 1) 桑原ゆみ：市立函館保健所研修会，「保健師教育の現状について」講師，2012年1月，市立函館保健所.
- 2) 竹生礼子：北海道道立診療所事務担当者会議における研修会「災害時の医療支援における看護実務」講師，2011年10月28日.
- 3) 竹生礼子：平成24年度第4回当別町ケアマネージャ連絡協議会「ケアプランについて多角的に考えるシンポジウム」シンポジスト，2012年7月11日.
- 4) 川添恵理子：北海医療大学セミナー ちよつと役立つ看護の知恵 第2回「もしもあなた（家族）が入院することになったらー退院後の在宅生活に必要なことー」講師，2011，10月22日.
- 5) 川添恵理子：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師，2012年6月19日.
- 6) 川添恵理子：手稲福祉センター・手稲区介護予防センター共催企画 介護予防教室「きらきら★シニア教室」講話：講師，2012，9月19日.

(6) 社会活動

- 1) 工藤禎子・竹生礼子・川添恵理子・若山好美：認知症の理解を広げる活動における活動の阻害要因と促進要因，「認知症キャラバンメイトの自由記載の分析より，文部科学省学術研究高度化推進事業学術フロンティア推進事業，平成22-23年度研究成果報告書，「認知症高齢者のトータルケアに関する学際的研究，複雑系に属する認知症高齢者への直接的ケアの開発（研究代表者 阿保順子）」，北海道医療大学大学院看護福祉学研究科，p28~43，2012年1月。
- 2) 工藤禎子：日本老年看護学会，評議員，査読委員
- 3) 工藤禎子：日本在宅ケア学会，評議員，査読委員
- 4) 工藤禎子：日本地域看護学会，編集委員
- 5) 工藤禎子：日本看護科学学会，査読委員
- 6) 工藤禎子：日本老年社会学会，査読委員
- 7) 桑原ゆみ：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師，2012年8-9月。
- 8) 桑原ゆみ：北海道看護協会学会，委員。
- 9) 桑原ゆみ：札幌市国保特定保健指導推進委員会，委員。
- 10) 桑原ゆみ：当別町とうべつ健康プラン21検討委員会，委員。
- 11) 桑原ゆみ：当別町国保運営協議会，会長。
- 12) 桑原ゆみ：日本糖尿病教育・看護学会，査読委員。
- 13) 竹生礼子：町内会単位で在宅ホスピスケアを普及・啓発を行うプログラムの効果評価，2011年度笹川記念保健協力財団在宅ホスピス緩和ケア研究助成事業研究報告書，2012年2月。
- 14) 竹生礼子：札幌市西区老老介護を学ぶ会「きずな」，健康講話講師，2011年10月・11月，2012年6月・7月。
- 15) 竹生礼子：北海道社会福祉施設整備選定に関する有識者会議委員。
- 16) 竹生礼子：当別町地域包括支援センター運営協議会委員長。
- 17) 竹生礼子：当別町第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会副委員長
- 18) 竹生礼子：当別町ケアマネージャ連絡協議会会員
- 19) 竹生礼子：当別町地域ケア会議介護予防部会会員
- 20) 竹生礼子：北海道緩和ケアに携わるナースのサポートネットワーク世話人
- 21) 竹生礼子：札幌ホスピス緩和ケアネットワーク幹事
- 22) 川添恵理子：手稲溪仁会病院看護部「退院調整・退院支援コンサルテーション」

(精神看護学)

(5) 講演

- 1) 佐久間えりか，笹木弘美：北海道訪問看護ステーション 手稲地区研修会 講師 2012

(6) 社会活動

- 1) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会 評議員，査読委員
- 2) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会「学術連携委員会」，「プロトコル委員会」委員
- 3) 佐久間えりか：日本看護科学学会 査読委員
- 4) 佐久間えりか：日本看護学会 精神看護学術集会抄録選考委員
- 5) 佐久間えりか：精神保健従事者団体懇談会監事
- 6) 佐久間えりか：北海道医療大学看護福祉学部学会理事
- 7) 佐久間えりか：NPO法人こころ理事長
- 8) 佐久間えりか，笹木弘美：千歳市民病院看護部看護研究指導，2011
- 9) 笹木弘美：北海道看護教員養成講習会 研究方法演習指導 講師 2011
- 10) 笹木弘美：日本保健福祉学会，査読
- 11) 笹木弘美：日本看護学会 精神看護学術集会 抄録選考委員
- 12) 笹木弘美：北海道医療大学看護福祉学部学会編集委員

母子看護学講座

教授：三國 久美

准教授：伊藤 道子

講師：遠藤紀美恵，木浪智佳子

助教：澤田 優美，川崎ゆかり

(2) 論文

- 1) Miho Kusanagi, Taiko Hirose, Kumi Mikuni, Motoko Okamitsu : Effect of early intervention using state modulation and cue reading on mother-infant interactions in preterm infants and their mothers in Japan, Journal of Medical and Dental Sciences, 58(3), 89-96, 2011, 9.
- 2) 澤田優美，木浪智佳子，川崎ゆかり，三國久美，草薙美穂，齊藤早香枝：働く母親の育児困難感の関連要因，北海道母性衛生学会誌，41（1），33-35，2012. 8.
- 3) 齊藤早香枝，木浪智佳子，澤田優美，川崎ゆかり，

三国久美, 草薙美穂: 働く母親の首尾一貫感覚 (SOC) と育児との関連, 北海道母性衛生学会誌, 41 (1), 36-39, 2012. 8.

- 4) 澤田優美: 女子大学生の母親イメージと育児観—高校生になるまでの母親の就労状況との関連—, 母性衛生, 53 (2), 227-233, 2012. 7.

(3) その他の論文

- 1) 木浪智佳子・川崎ゆかり: 病院の「きまり」を守れない親への対応, 小児看護, 35 (3), 278-282, 2012, 3.
- 2) 伊藤道子, 大久保功子: Critique ギリシヤにおける病院スタッフ向け災害訓練プログラムの効果, インターナショナルナースingleレビュー, 35 (2), 52-54, 2012, 4.

(4) 学会発表

- 1) 澤田優美, 三国久美, 齊藤早香枝, 木浪智佳子, 川崎ゆかり, 草薙美穂, 廣瀬たい子: 乳幼児を保育園に預けて働く母親のワークライフバランスとその関連要因, 第5回乳幼児保健学会, 2011, 10.
- 2) 森脇智子, 川崎裕美, 山下理子, 三国久美, 廣瀬たい子, 木浪智佳子, 澤田優美, 寺本妙子: つどいの広場を利用する母子の児の成長に伴うNCATS得点の変化, 第5回乳幼児保健学会, 2011, 10.
- 3) 寅嶋静香, 遠藤紀美恵, 澤田優美: 524名の産後母における体調の実態調査報告及び産後運動ケアの提案, 第42回北海道母性衛生学会学術講演会, 2012. 9.
- 4) 平田由佳, 加藤 真, 佐瀬美恵子, 遠藤紀美恵: 助産師が実施した妊娠初期の保健指導に対する妊婦の評価, 全国自治体病院学会第50回記念大会 2011, 10.
- 5) 加藤 真, 平田由佳, 佐瀬美恵子, 遠藤紀美恵: 助産師による妊娠初期の保健指導後における妊婦の生活変化, 全国自治体病院学会第50回記念大会 2011, 10.
- 6) 山崎智子, 川崎裕美, 三国久美, 木浪智佳子, 澤田優美, 寺本妙子, 山下理子, 廣瀬たい子: つどいの広場の利用頻度とNCATS得点の関連性の検討, 第6回乳幼児保健学会, 2012, 9.

(6) 社会活動

- 1) 三国久美: 乳幼児保健学会, 理事
- 2) 三国久美, 遠藤紀美恵: 平成22・23年度江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師
- 3) 三国久美: 北海道医療大学看護福祉学部学会, 第9

回学術大会大会長, 2012, 9.

- 4) 三国久美: 北海道社会保険総合病院「看護研究研修」講師
- 5) 三国久美・伊藤道子: 北海道公衆衛生学会評議員
- 6) 伊藤道子: 北海道母性衛生学会幹事総務
- 7) 伊藤道子: 第26回日本助産学会学術集会企画委員, 2012, 5.
- 8) 澤田優美: 第26回日本助産学会学術集会実行委員, 2012, 5.

成人看護学講座

教授: 野川 道子

准教授: 佐々木栄子, 館山 光子

講師: 唐津 ふさ, 西村 歌織

助教: 二本柳玲子, 高木 由希, 本吉美也子, 橋本 茜

(2) 論文

- 1) 野川道子: 療養の場を問わず使用できる病気の不確かさ尺度の開発, 日本看護科学会誌, 32 (1), 3-11, 2012.

(3) その他の論文

- 1) 佐藤美和, 下川満智子, 齊藤由美子, 濱田晋輔, 相馬広幸, 本間早苗, 武井麻子, 森若文雄, 田代邦雄, 佐々木栄子: 神経難病患者の生活の質に関する研究—SF-8を用いた調査—, 第32回札幌市病院学会講演集, p63-65, 2010, 2.

(4) 学会発表

- 1) 田村真美, 野川道子: 外来血液透析患者のストレスの検討, 北海道医療大学看護福祉学部学会, 第9回学術大会, 札幌市, 1212, 9.
- 2) 佐藤美和, 下川満智子, 齊藤由美子, 濱田晋輔, 相馬広幸, 本間早苗, 武井麻子, 森若文雄, 田代邦雄, 佐々木栄子: 神経難病の特性を知る—SF-8を用いた調査—, 第32回札幌市病院学会, 2012, 2.
- 3) 館山光子, 雉子谷知子: 虚血性心疾患患者の社会的孤立の構造—病気になって体験した社会生活の変化から—, 第8回日本循環器看護学会学術集会, 2011 (, 11)
- 4) 館山光子: 虚血性心疾患患者の社会的孤立に関連する要因と構造モデルの検討, 第9回日本循環器看護学会学術集会, 2012 (, 9)
- 5) 杉田久子, 唐津ふさ, 西村歌織: 看護学生が語る看

護の「知」の表現—グループインタビューの分析から—, 日本看護科学学会, 2011, 12

- 6) 唐津ふさ: 病者と病いと折り合い—運動器に障害をもつ病者に焦点をあてて—, 日本看護科学学会, 2011, 12
- 7) 平 典子, 唐津ふさ, 鳴井ひろみ, 田中いずみ, 三津橋梨絵: 治療期にあるがん患者の家族に対する支援—病棟看護師に対するグループインタビューから—, 日本がん看護学会, 2012, 2
- 8) 唐津ふさ, 平 典子, 鳴井ひろみ, 田中いずみ, 三津橋梨絵: 外来治療を受けながら療養生活を送るがん患者の家族に対する支援—外来看護師に対するグループインタビューから—, 日本がん看護学会, 2012, 2
- 9) 唐津ふさ, 平 典子, 鳴井ひろみ, 田中いずみ: 外来治療を受けながら療養生活を送るがん患者を支える家族の体験, 日本看護研究学会北海道地方会, 2012, 6
- 10) Noriko Hira, Fusa Karatsu, Izumi Tanaka, Hiromi Narui: Support to Families of Outpatients Undergoing Cancer Treatment, International Symposium On Supportive Care in Cancer, 2012, 6
- 11) 西村歌織: がんサバイバーが経験した社会的排除に関する語りの分析, 第26回日本がん看護学会学術集会, 2012 (2)
- 12) 石岡明子, 山田富美子, 松本克弘, 田村里子, 白石典子, 成田佳永, 川村三希子, 西村歌織, 小島悦子: がん患者と家族への視察型情報提供「ホスピス・緩和ケア病棟見学会」の評価, 第17回日本緩和医療学会学術大会, 2012 (6)
- 13) 本吉美也子: 透析施設における学習支援プログラムの検討, 第22回日本看護学教育学会学術集会, 熊本, 2012 (8) .

(5) 講演

- 1) 野川道子: 教育講演9「高度実践看護師の認証制度について」, 日本医工学治療学会第28回学術大会, 札幌, 2012, 3.
- 2) 野川道子: 高知県立大学看護学部FD活動「大学院における高度実践看護者の育成と今後の展望—北海道医療大学における取り組み」2012, 3.
- 3) 野川道子: 大会企画シンポジウム「病気の不確かさ理論」, 日本応用心理学会第79回大会, 札幌, 2012, 9.
- 4) 高木由希: 「血液透析患者が認知する病気の不確かさの特徴—UUISを用いた調査結果より」, 第79回日本応用心理学会学術集会シンポジウム「病気の不確

かさ理論」シンポジスト, 札幌, 2012, 9.

(6) 社会活動

- 1) 野川道子: 日本慢性看護学会 理事
- 2) 野川道子: 日本難病看護学会 理事 査読員
- 3) 野川道子: 日本看護科学学会 代議員 和文誌専任査読委員
- 4) 野川道子: 日本看護研究学会 評議委員
- 5) 野川道子: 日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定委員 (慢性看護専門分化会副委員長)
- 6) 野川道子: 日本看護協会 専門看護師制度委員会 (委員長)
- 7) 野川道子: 日本看護協会 専門看護師認定実行委員会委員
- 8) 野川道子: 北海道社会福祉審議会委員
- 9) 野川道子: 札幌医科大学地域医療支援対策委員会委員
- 10) 佐々木栄子: 医療法人社団明生会手稲ロイヤル病院「看護研究」指導
- 11) 佐々木栄子: 北祐会神経内科病院「看護研究」指導
- 12) 佐々木栄子: 当別町訪問看護ステーション研修会講師「神経難病患者の在宅での看護の役割」, 2012, 8.
- 13) 館山光子: 日本救急看護学会 機関誌専任査読委員
- 14) 館山光子: 手稲溪仁会病院 看護研究指導
- 15) 館山光子: 岩内協会病院 看護研究指導
- 16) 唐津ふさ: 手稲溪仁会病院「看護研究」指導
- 17) 唐津ふさ: 北海道主催 看護教員養成講習会「看護理論」講師
- 18) 西村歌織: 北海道医療大学 恵佑会札幌病院寄付講座「がんを持つ人の生活支援プロジェクト」講座員.
- 19) 西村歌織: がん予防・啓発チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ ジャパン 2012 in いしかり」(公益財団法人 日本対がん協会, 実行委員会共催), 実行委員・事務局担当.
- 20) 西村歌織: NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」企画・運営.
- 21) 二本柳玲子: 北海道医療専門学校 看護学科 看護の統合 I 看護研究「研究の意味」「ケーススタディ」講師 2011, 12

臨床看護学講座

教授: 川村三希子, 塚本 容子

講師：高橋 久江, 長谷 佳子
助教：北村美奈子

(1) 著書

- 1) 宮坂勝之総監訳, 塚本容子監訳: Standards of Infusion Therapy—輸液看護の実践基準, Infusion Nurses Society, Bard/メディコン株式会社, 2011 (, 11月).
- 2) 宮坂勝之総監訳, 塚本容子監訳: Policies and Procedures for Infusion Nursing—輸液看護の方針と手順, Infusion Nurses Society, Bard/メディコン株式会社, 2012 (, 6月).

(3) その他の論文

- 1) 阿部泰之, 木澤義之, 京極 真, 川村三希子, 瀧川千鶴子: 緩和ケアに必要な医療者・患者が価値観を共有するコミュニケーション. 実践・教育プログラムの開発に関する研究. 2011年度笹川記念保健協力財団ホスピス緩和ケアスタッフの発掘・啓発研究助成報告書. 平成22年度笹川記念保健協力財団.
- 2) 小野美喜, 石川倫子, 塚本容子他: 大学院修士課程を修了した特定看護師(仮称)活動の現状, 日本看護科学学術集会講演集31回, Page 180, 2011
- 3) 塚本容子: 血管アクセスと管理の実際, Expert Nurse, 28巻, 1号, 42-50, 2011.
- 4) 塚本容子: 血管内留置カテーテル関連感染のガイドラインをめぐり—我が国での活用への課題, 日本環境感染学会誌, 27巻, Page 29, 2012.
- 5) 塚本容子: 米国における輸液看護の実際と我が国の今後の輸液看護の課題, 臨床看護, 38巻6号, 801-804, 2012.
- 6) Gina Pugliese, Toshihiro Mitsuda, Yoko Tsukamoto, Keita Morikane: 感染予防の観点から安全な注射処置を考える. INFECTION CONTROL, 21巻6号, 550-555, 2012.

(4) 学会発表

- 1) 川村三希子, 前野 宏, 田村里子他: 一次緩和ケアを担う医療者を対象とした緩和ケア多職種研修のプログラム評価. 第17回日本緩和医療学会, 神戸, 2012 (, 6月).
- 2) 石岡明子, 川村三希子, 西村歌織, 小島悦子他: がん患者と家族への視察型情報提供「ホスピス・緩和ケア病棟見学会」の評価. 第17回日本緩和医療学会, 神戸, 2012 (, 6月).
- 3) 三宅隆仁, 塚本容子: 感染管理専門家を対象としたバイオテロリズム対策に関する教育プログラムの検

討, 第27回日本環境感染学会, 2012 (, 2月)

- 4) Yoko Tsukamoto & Kaori Yamada: Measuring the Effect of Hospital Cleaning—Intervention to Prevent Health Care Associated Infections. APIC Annual Conference, 2012 (6月), San Antonio
 - 5) 筆村 望, 長谷佳子, 横田広子: 糖尿病足病変スクリーニングと患者教育の評価, 第16回北海道糖尿病看護研究会, 札幌, 2011 (, 10月).
 - 6) 長谷佳子, 藤原由子, 竹川幸恵, 本城綾子, 伊藤史, : 呼吸ケア領域におけるエキスパート看護師の役割機能—国内文献の検討—, 第21回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 松本, 2011 (, 11月).
- (5) 講演
- 1) 川村三希子: 北海道のがん対策と課題. がんタウンミーティング. 帯広, 2012 (, 3月).
 - 2) 川村三希子: 緩和ケア, そのイロハ. 北海道新聞がん特別セミナー, 札幌, 2012 (, 4月).
 - 3) 川村三希子: ホスピス緩和ケアの専門性とは. 第2回南区緩和医療研究会, 札幌, 2012 (, 7月).
 - 4) 川村三希子: 一般病棟でできる緩和ケア—その人らしい療養生活を支えるために—. 北海道看護協会上川北支部研修会. 名寄, 2012 (, 8月).
 - 5) 川村三希子: ホスピス緩和ケアにおける看護師の責任. 日本ホスピス在宅ケア学会教育講演. 帯広, 2012 (, 9月).
 - 6) 塚本容子: 感染症を持つ患者へのチームアプローチ—より患者視点にたった感染管理実践のために, 第8回Nara Infection Control Seminar, 2011 (, 10月).
 - 7) 塚本容子: 看護師の業務範囲・責任範囲・材料の日米相違. 輸液看護セミナー, Bard/Medicon, 2011 (, 11月).
 - 8) 塚本容子: 日本におけるNPの教育, NP国際シンポジウム, 東京, 2011 (, 10月).
 - 9) 塚本容子: 環境と医療関連感染の関連—感染率低下させるための環境整備(衛生)とそのモニタリング, 教育講演, 第27回環境感染学会2012 (, 2月).
 - 10) 塚本容子: 高齢者の感染症アセスメント, 第6回旭川感染管理ネットワーク, 旭川, 2011 (, 2月).
 - 11) 塚本容子: CDCガイドラインとその実践のためのケアバンドル, HICC第9回感染管理教育セミナー, 神戸, 2012 (, 6月)
 - 12) 塚本容子: 慢性看護における看護職の役割拡大, シンポジスト, 浜松, 第6回慢性看護学会, 2012 (, 7月)
 - 13) 塚本容子: C. diffにおける便移植, 3M InfectionPre-

- vention Seminar, 東京, 2012 (, 9月)
- 14) Yoko Tsukamoto : How clean is clean enough to prevent Healthcare Associated Infections? , International Conference of implementing hospital-wide environmental cleaning program and standards in control multi-drug resistant microorganisms, Taipei, 2012, (9月).
 - 15) Yoko Tsukamoto : Global Trend in Infection Control, Taipei Medical University, Taipei, 2012, (9月).
- (6) 社会活動
- 1) 川村三希子：パネルディスカッション「がんを家族にどう伝えどう支えるか」座長. 第17回日本緩和医療学会, 神戸, 2012 (, 6月).
 - 2) 川村三希子：看護師フォーラム「より自由であることを目指して～緩和ケアにおける看護の魅力～」座長. 第17回日本緩和医療学会, 神戸, 2012 (, 6月).
 - 3) 川村三希子：「対象者の教育ニーズから教育目標の吟味, 教育方法の選択まで」第2回ELNEC-J指導者交流集会. 第17回日本緩和医療学会, 神戸, 2012 (, 6月).
 - 4) 川村三希子：終末期医療における倫理的問題と対応. ナースのためのホスピス緩和ケア研修, 2012 (, 7月).
 - 5) 川村三希子：がん患者の支援について～がんになっても自分らしく療養し続けるために～. 北海道医療大学セミナー I. 平成24年度生涯学習事業, 2012 (, 9月).
 - 6) 川村三希子：平成24年度北海道がん対策推進委員.
 - 7) 川村三希子：北海道がん在宅医療・緩和ケア推進事業評価委員会 委員.
 - 8) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会理事.
 - 9) 川村三希子：日本がん看護学会評議委員.
 - 10) 川村三希子：日本がん看護学会査読委員.
 - 11) 川村三希子：日本緩和医療学会代議委員.
 - 12) 川村三希子：日本緩和医療学会. がん疼痛薬物療法ガイドライン改訂WPG委員.
 - 13) 川村三希子：日本緩和医療学会 教育研修委員 ELNEC-J WPG WG員.
 - 14) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部役員.
 - 15) 川村三希子：ホスピスケア研究会札幌分会世話人.
 - 16) 川村三希子：日本死の臨床研究会北海道支部常任幹事.
 - 17) 川村三希子：札幌ホスピス緩和ケアネットワーク幹事.
 - 18) 川村三希子：kanwa-n-net世話人代表.

- 19) 川村三希子：がんプロフェッショナル養成プラン がん看護インテンシブコース責任者.
- 20) 川村三希子：NPO市民と共に創るホスピスケアの会. がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」運営・企画.
- 21) 塚本容子：International Council of Nursing, HIV-AIDS Network Advisory.
- 22) Yoko Tsukamoto：UNAIDS, Asia Pacific Region Consultant.
- 23) Yoko Tsukamoto：The Nurse Practitioner Journal, International Editorial Advisory Board.
- 24) 塚本容子：戦略的の大学連携支援事業連絡調整会議構成員およびワーキンググループメンバー.
- 25) 塚本容子：日本NP協議会メンバー.
- 26) 塚本容子：環境感染学会, 国際委員会, 副委員長
- 27) 長谷佳子：福井大学大学院医学系研究科付属看護キャリアアップセンター認定看護師教育課程 慢性呼吸器疾患看護 非常勤講師.
- 28) 長谷佳子：日本慢性看護学会 評議員.
- 29) 長谷佳子：日本慢性看護学会特別委員会ワーキンググループ.
- 30) 長谷佳子：慢性疾患看護専門看護師研究会 副会長.
- 31) 長谷佳子：北海道医療大学病院 看護部学習会 講師.
- 32) 北村美奈子：俱知安厚生病院看護部 平成24年度看護研究指導.

恵佑会札幌病院寄付講座

教授：川村三希子（臨床看護学講座 兼任）
 准教授：竹生 礼子（地域保健看護学講座 兼任）
 講師：西村 歌織（成人看護学講座 兼任）
 助教：木村 公美

(6) 社会的活動

- 1) 木村公美：社会医療法人 恵佑会札幌病院看護部 研究指導, 2010年～現在
- 2) 木村公美：社会医療法人 恵佑会札幌病院看護部 研修講師, 「PowerPointを使った見やすいスライドの作り方」, 2011. 12.
- 3) 木村公美：社会医療法人 恵佑会札幌病院看護部 研修講師, 「看護研究 I 研究の基礎とプロセスを学ぶ」, 2012. 8.